

1129話し合いの進め方

【全体協議のテーマ】

～ 少子化時代における「目指すべき『学びの場』の確保」 ～

1129話し合いの進め方

1 各委員に求めたい意見（見附市における、小規模校への対応）

- ・今後の「小学校教育の果たす役割と、地域と学校の関係」についての意見集約

👉 学校の存続と、これからの小規模校は現状のままでよいのか？

EX 特色ある学校づくり → 複合施設？ 特化型？ 選べる教育環境？

👉 地域と学校との関係に何を求めるのか？

2 当検討委員会で示唆されている課題

その1 地域の特性を生かした教育の展開

- ・オープンスクールの活性化と一層の運用の工夫

👉 小規模校と中・大規模校との学校選択の可能性を追究していくこと。

その2 市内中学校の教職員定数の増を可能にする措置

- ・中学校教育の質の確保（統廃合の計画立案と学区の見直し）

👉 施設の老朽化対策、小中一貫教育の視点を含めて追究していくこと。

3 諮問答申の内容とすべきこと

1 示唆された課題

その1 地域の特性を生かした教育の展開（小学校）

（オープンスクールの活性化と一層の運用の工夫～小規模校と中・大規模校との学校選択の可能性追究など）

視点 見附らしさ、地域の伝統の尊重と生かし方

- ・みつばプラン校の魅力と成果の確認

 - 見附らしさ（コンパクトシティとしての学区の弾力化）

 - 児童生徒の多様性への対応（いじめ・不登校対策を含む）

 - 課題の所在（今後の小規模校化対策、通学移動手段の確保）

視点 子ども目線・保護者・地域目線

- ・児童生徒ならびに保護者・未就学児保護者を含めたオープンスクールの利用意識調査の実施

- ・CSを通しての意見・要望集約

視点 オープンスクール運用ルールの見直し（名称変更を含む）

- ・学校選択制の拡大（学区の弾力化）

- ・小学校選択の意思決定期間の設定 ＊小規模校学校運営への措置として重要。

- ・学校間交流の一層の促進（IT活用を含む）

1 示唆された課題

- その2 市内中学校の教職員定数の増を可能にする措置
・ 中学校教育の質の確保（統廃合の計画立案と学区の見直し）

視点 『学校統廃合計画立案』の必要性への要望
学区の見直し、小中一貫教育の視点を含めた、
市内中学校統廃合計画案の作成

視点 当面の老朽化対策推進の具体計画の公表

視点 今後の課題『見附市立学校整備の基本方針』の見直しの必要性
（修正・付加事項の検討）

2 諮問答申の内容とすべきこと

- 見附市小中学校の現状と課題
(学びの成果と課題、
学校規模と諸統計資料、
学校の適正規模等にかかわる文部科学省資料)
- 見附市における教育環境整備に関する基本的な考え方
「少子化時代における目指すべき『学びの場』の確保」をテーマにした取組
 - ・ タウンミーティングでの知見
 - ・ 本検討委員会におけるグループ協議に基づく課題整理、検討課題の創出
- 創出された検討課題
(= 将来を見据えた適正規模・適正配置等の考え方と実現に向けた方策)
 - ・ これからの小規模校のあり方にかかわる意見集約の必要性
- 付帯事項 「学校の統廃合計画立案」作成着手に向けた要望
- 付帯意見 検討委員会各委員の、
今後の教育環境づくり（学校教育および学校施設環境整備）に求めたいこと